

わかやま母親通信

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます



第 135 号 2026 年 1 月 12 日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通 3 の 20 和歌山県教育会館内
FAX:073-446-2667 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp HP 和歌山県母親大会

明けましておめでとうございます。新年になっての最初の母親通信です。

2025/11/22 第3回全県代表者会での大切な確認事項

和歌山県母連第 3 回全県代表者会で次の点が確認されています。

1 「2026 年 第 70 回和歌山県母親大会」について

- * 開催地・会場；和歌山市・プラザホープ(和歌山市北出島 1-5-47)
- * 開催日 ；2026 年 6 月 14 日(日) 午前 分科会 午後 全体会
- * 実行委員会の立上げ；2 月 11 日(水)13:00~15:30 於:県教育会館 4F 大会議室

2 「2027 年以降の県大会・運動をどうしていくか」について

たくさんのご意見や貴重な想いを「第 2 アンケート」にお寄せいただき、ありがとうございました。「わかやま母親通信 134 号」に掲載しておりますので、お読みください。結論を出していくためにも、他郡市・他団体の意見にもじっくり目を通してください。

「1 案 第 70 回大会後やめていく方向で考える」「2 案 (母親大会の名称のまま或いは時代に合う名称を考えて)、形を変え、規模を縮小しても続けていく」の意見が、ほぼ半々でした。それぞれの郡市母連や団体ごとの事情も分かりますし、1 つ 1 つのご意見や想いも「もっともです」と思えることばかりです。 (2 面につづく)

◎「私と母親大会(運動)」or「母親大会で出会った人」という題で、400 字程度 of 原稿を募集します。ぜひ、お送りください。今回は、和歌山市母連会長 H. S. さんです。

私と母親大会(運動)④

私は中卒で南海電鉄に入社し、16,7 歳の頃職場のおじさんに、「焼津の 3.1 ビキニデーに行こう」と誘われ何も分からないまま参加しました。その翌年、大阪での日本母親大会に組合の動員で行きました。18 歳でした。「母親でもないのに、なんで？」と思いながら参加したことを覚えています。1966 年頃、総評、日教組など参加団体の約半数が「母親大会不参加」を言い出し、私たちの私鉄総連も不参加を決めました。私の職場は私鉄総連の「異端児」だったので母親大会へ単組として参加し続けました。

注.原水禁運動の中で起こった論争と対立が、労働組合を巻き込み母親大会にも深刻な影響を生んだが、粘り強い話し合いで「統一メモ」を確認し、次年には多くの組合が母親大会に戻った。

1968 年、第 14 回福島大会の「働く婦人」分科会の司会が和歌山県の担当だったらしく、当時の県母連事務局長の西山嵩子先生(和教組婦人部長)に指名され、20 歳そこそこの頼りない私が司会をしました(私の司会が拙くて、たぶん西山先生は恥をかいたのではないかなあ)。第五福竜丸のことや母親運動は、私のその後の生き方や新婦人活動・平和運動の原点になっています。

和歌山市母連の会長も長くさせていただいてきましたが、次の担い手を育てることができず、母親運動を先細りさせ終わらせるかと思うと心が痛みます。 和歌山市母連 H. S.

では、どうしていくか・・・「第2アンケート」の集約内容をもとに、県役員会で今後の「話し合いの方向」について話し合いますので、そのための時間をいただきたいと思います。「話し合いの方向」についての提案内容を1月の役員会でまとめ、3月の第2回実行委員会に示せるように準備します。

.....
またまた、日本母親大会参加者の感想文が届きましたので、第2弾を掲載しました。

第10回日本母親大会 in 東京 参加者の感想②

《9月28日(日) 分科会》

母親運動はたいへんやけど、大切やなあ① ←感想文は、この題名付きでした。

*昨年、初めての和歌山大会が成功したら、母親大会はの大会には参加しようと思っていました。最後ではいな有原誠治さんの絵とみなさんが書いたメッセージをだいて立ち向かっている絵は『いのちの砦は渡さない』というメッセージを強く感じるものでした。第12分科会『どうする SNS 社会・フェイクニュースとの対応』に参加しました。SNSは、70代手前の私には便利のようで、あと1歩使いこなせず、何が正しい情報か判断しづらいです。使いこなしている若者とどうかかわっていけばいいのかもわからなかったからです。市川先生のお話では、先の選挙では、候補者だけでなく、関係のない人がどんどん拡散して支持を広げたようです。今までのようにテレビやチラシなどよりずっとたくさんの人に広がった。不確かな情報でも、感情が刺激されたら拡散すると。一人でSNSを操作していると、自分に都合のいい情報ばかりが流れてきて、ますますそれが正しいと思い込んでしまう。これからも、どんどん情報は増えていく。それによって、間違った行動が起こることも多々ある。

いのちの砦は渡さない



じゃどうすれば、いいかという、最終信頼できる家族や知り合いなどが、チェックすること、個人のもっている人間関係が大事だそうです。それって本当？こんなにも書いてるけど、と話し合ってみて考える余地を残しておくことかなあと思いました。でも、若者にそれをちゃんと話ができるかなあ・・・。



*第19見学分科会『ビキニの証人第五福竜丸展示館へ』

バスの中で自己紹介とともに、この分科会に参加した動機が多かったが、やはり去年の「in 和歌山」の全体会講演を聞いて、「ぜひ参加したかった」と言う人が多かった。

福竜丸展示館では、新たに館長になられた方がとてもいいに分かり易く、福竜丸が被ばくした経緯やその後！そして、社会でのそれへの反響や運動への転換などを話してくださって、とてもよく分かり、その当時の人々の「二度と戦争はいやだ、もう被爆して亡くなるというような人を出したくない」という気持ちの広がりや、今私たちはどう受け止め、

どう広げていったらいいのかと考えさせられた。

帰りのバスの中で、昨年参加した方から、自分の学校の生徒 200 人の修学旅行で展示館に行くということをお聞きし、私たちが取り組んだことが次世代につながっていることも実感した。

《9月29日(月) 全体会》

母親運動はたいへんやけど、大切ななあ②

* 2日目の全体会の講演では、戦争の危険がますます大きくなっている事（石垣島やハワイでの日米共同訓練、自衛隊の強靱化の様子）を写真でリアルに報告してくれました。アメリカは日本を守ってくれないこと、軍拡競争では平和は守れない事、東南アジアでの紛争回避の努力などを再確認しました。平和外交の努力をしない今の政府は歯がゆいです。何とか、この声を大きくしていかなくちや、本当に戦争の危険は増すばかりです。



これで、帰路についてしまったので、各地の運動交流は聞きませんでした。が、昨年同様、全国で粘り強く色々な運動がおこなわれているのだろうなあとと思っています。何もせず幸せに暮らしている人は、ここには集まってきてはいないので。

大会前に、友人と、ちひろ美術館、第5福龍丸展示館にも行ってきました。戦後80年、今また戦争の足音が聞こえている時、美術館は平和の大切さを思い起こさせるような企画をしていました。展示館では、ずっとピキニ水爆実験のことを語り継いできている80年近くの歴史や、「原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい」という久保山愛吉さんの碑も見ました。それと、原水爆を禁止しようと母親が立ち上がったことを契機に、翌年母親大会が始まったことも書いてありました。

「命を育み守るために行動する母親たちの運動が、核時代を生きる人々の希望を紡ぐことに大きく貢献してきたのだと、私は思います」と、有原さんが巻頭に書いてくれています。そうか、そうなんや・・・と少し嬉しく思いました。70年間の運動の中で、どれだけ幸せな人が増えたかなあと思いますが、それから、新たにどれだけ、苦しい思いをする人が増えてきているのか、とも思います。以上

2026年国際女性デー 学習や集会・スタンディングに取り組みましょう

和歌山県実行委員会からの取組みの提起

①3.8 国際女性デーのつどいを郡市・地域・団体・グループで開きましょう。

つどい(または行動)の計画は、県実行委員会へも知らせ、多くの人に参加や協力を呼びかけましょう。開催後は、県実行委員会へ報告しましょう。

②各地のつどいで出た意見や願いを、地域の要求運動に生かしていきましょう。

③第70回日本母親大会第⑭分科会のまとめを読んで学習に生かしましょう。(大会集録)

④1999年国連で採択されてより27年も経ちながら、日本政府が今だに批准しようとしなない「女性差別撤廃条約 選択議定書」(116か国がすでに批准済)について学びましょう。

国連の「女性差別撤廃条約」も、今一度読んでみましょう。→ネットでダウンロード可。

◎「フェミニズム学」の第一人者 上野千鶴子氏(元東大教授 NPO 法人ウィメンズ・アクション・ネットワーク)が、アイスランドの「女性の休日」ストライキ(1975.10.24)から50年目を念頭に、2026.3.6.に日本版「女性の休日」ストライキを全国に呼び掛けています。**何をどうするのか**、詳細はこれから出るでしょうから、新聞報道やネット記事に気を付けておきましょう。



2025年 武器はいらない 核もいらない 12.8 母親・女性の平和行動

今年も県下各地で、多彩に赤紙 6200 枚の配布行動(予定含む)が取り組まれました。11 月中に開催された「憲法フェスタ」や「9 条まつり」「郡市母親大会」などで「赤紙」を配布したところもありました。ごくろうさまでした。

<ul style="list-style-type: none"> 伊都橋本母親大会で参加者に配布した。 JR 橋本駅前で通勤、通学の人たちに配布した。高校生が多く、関心をもって読んでくれる人も何人かいた。「あっ、真珠湾攻撃の日や」とつぶやく高校生もいた。 新婦人主催の高校生の描いた「原爆絵画展」に来てくれた人に配布した。 <p style="text-align: right;">伊都母連</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道行く人や市役所の人に配布した。今日の日を知る人も知らない人もいた。比較的若い人でも、赤紙を受け取ってくれる人説明に耳を傾けてくれる人もいた。 配布後、市役所前から出発する「ランチタイムデモ」に合流した。 県・和歌山市母連 残った分は、周辺の家へポストインをした。 加盟団体が組織内で配布行動をした。
<ul style="list-style-type: none"> 晴天でにぎわう白浜町とれとれ市場前の車道でスタンディングをした。車から手を振ってくれる人がいて勇気づけられた。 <p style="text-align: right;">西牟婁母連</p> <ul style="list-style-type: none"> 白浜町オレンジランドに 300 枚、マーメイドタウン 250 枚。上富田と共催で、独自ちらしと新婦人ちらしの3枚セットで配布。若い母親と話ができて良かったが、留守が多くほぼポストイング。田辺・上富田 龍神九条の会で配布した。 竜神地区 高校前で配布した。 子育て世帯が多い住宅でポストイングした <p style="text-align: right;">すさみ地区</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> 加盟 12 団体が組織内で配布行動をした。 9 条祭りで参加者に配布した。 那賀母連 2度に分けて、スーパーマーケット前で、買い物客に配布した。 12/8 から5日連続で、「戦意高揚」ポスター展で参加者に配布した。 日高母連
<ul style="list-style-type: none"> 住宅地へポストインした。 有田母連 憲法フェスタの参加者に配布した。 4 支部の新婦人新聞に折り込んだ。 九条の会ニュースに折り込みをした。 	<ul style="list-style-type: none"> 加盟団体が組織内で配布行動をした。 住宅地でポストイングした。 海草母連 各自住まいの周辺で配布行動をした。 東牟婁母連

第 59 回近畿ブロック母親運動学習会に参加しましょう

*日 時 ; 2026 年 2 月 22 日(日) 11:00~12:30 全体会 13:30~16:00 分科会

*会 場 ; 尼崎市・尼崎中小企業センター(阪神尼崎駅下車 徒歩 10 分)

*全体会講師; 伊藤千尋氏 (国際ジャーナリスト)「世界の平和と日本の平和を展望して」

◎詳しい案内ちらしは、各郡市事務局・団体にあります。

お問合せ・参加申し込みも各郡市事務局・団体まで。